

登録コード	L2640100	開講年度	2026				
担当教員	速水 香織			副担当			
授業科目	日本文学発展演習						
英文授業名	Japanese Literature: Advanced Seminar						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	水曜・4時限
講義室	人文第1講義室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前が対象】過去の英知の批判的継承のうえに 立って創造的な未来を切り拓く開拓力			テキストの正確な読解能力及び文献調査能力を向上することにより、 実証的な分析考察を可能にする思考力を獲得する。			
	【2022年度以前が対象】情報を適切に集約・分析・表現で きる高度なメディアリテラシー			精確な読解力に基づいた考察内容を他者に効果的に伝えるプレゼン テーション能力を獲得する。			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降が対象】人文学部人文学科の学士（文学） の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。 【思索力・受容力・批判力】			テキストの正確な読解能力及び文献調査能力を向上することにより、 実証的な分析考察を可能にする思考力を獲得する。			
	【2023年度以降が対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、 発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			精確な読解力に基づいた考察内容を他者に効果的に伝えるプレゼン テーション能力を獲得する。			
授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	江戸時代初期に刊行された仮名草子『女郎花物語』（板本）を取り上げ、注釈作業を行います。具体的には、担当個所の翻字、語釈、口語訳、和歌の解釈、素材及び典拠の考察を主な作業とします。						
授業計画	第1回 イントロダクション 第2回 北村季吟と『女郎花物語』についての概説 第3回 担当の決定と作業の確認 第4回 翻字作業 第5回 語釈・口語訳にあたっての資料解説 第6回 考察方法の確認 第7回 資料作成と確認 第8回 資料作成と確認 第9回 担当者の発表（下照姫の段）と質疑応答 第10回 担当者の発表（豊玉姫・木花咲耶姫の段）と質疑応答 第11回 担当者の発表（衣通姫の段）と質疑応答 第12回 担当者の発表（采女の段）と質疑応答 第13回 担当者の発表（橘嘉智子の段）と質疑応答 第14回 担当者の発表（女一宮紀伊の段）と質疑応答 第15回 まとめ 定期試験 レポート なお、13～15回のいずれかにおいて、授業アンケートを実施します。						
成績評価の方法	発表の内容（50％）、質疑応答（40％）、レポート（10％）によって評価します。 質疑への積極的な姿勢を重視します。						
成績評価の基準	担当個所の翻字、語釈、口語訳、和歌の解釈、素材及び典拠の考察が一通り行えていることを成績評価の基準（可）とします。これらが良好な水準であれば良、優れていれば優、卓越していれば秀と評価します。						
事前事後学習の内容	発表の周回の準備、および質疑の準備が事前学習となります。また、発表内容の補足・再調査等を事後学習とします。						
履修上の注意	前期開講科目「日本文学基幹演習」の単位修得済みであることを履修の前提とします。同科目の単位が修得されていない場合、受講を認めないことがあります。 発表の準備、特に語釈と問題点の考察には多くの時間を費やすことになりますので、その予定で臨んで下さい。 発表者には授業時間と参加者に対する、責任ある態度を望みます。						
質問、相談への対応	毎週木曜日12:10～13:00をオフィス・アワーとします。他の時間帯でも、可能な限り対応しますので、事前にメールで連絡をお願いします。 （事前連絡がない場合、対応しないことがあります。） メールアドレスは、khayami@shinshu-u.ac.jpです。						
教科書	『仮名草子集成』第8巻（東京堂出版1997） 近世文学資料類 仮名草子編13『薄雪物語・女郎花物語』（勉誠社1973） いずれも購入の必要はありません。 ほか、授業中に適宜プリントを配布します。また、毎回の発表者に、資料の作成をお願いします。						

参考書

授業中に必要に応じて指示します。